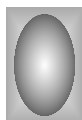


INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nacsis.ac.jp/psj/>)



千里ライフサイエンスセミナー

「ヒト遺伝子多型とファーマコジェノミクス」

日 時：平成 13 年 3 月 2 日 (金)
10 : 00 ~ 17 : 00
場 所：千里ライフサイエンスセンタービル
5 階ライフホール
主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団
協 賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター
コーディネーター
東京大学医科学研究所 教授 榊 佳之
国立循環器病センター研究所 部長 森崎隆幸

プログラム

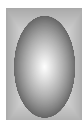
1. SNP と体系的遺伝子発現プロファイルに基づく臨床ゲノム薬理研究
国立小児病院小児医療研究センター 部長
辻本豪三
2. ゲノム多型を用いる疾患関連遺伝子同定へのアプローチ
徳島大学ゲノム機能研究センター 教授
板倉光夫
3. 日本人ゲノム多型 (SNP) の収集とその特徴
国立循環器病センター研究所 部長
森崎隆幸
4. 国立がんセンターにおけるミレニアムゲノムプロジェクト

国立がんセンター 部長 大木 操
5. 高血圧関連遺伝子と SNP
愛媛大学医学部 教授 三木哲郎
6. ヒトゲノム計画の新しい展開
東京大学医科学研究所 教授 榊 佳之
参加費 (講演要旨集合含む) :
6,000 円 (会員 [大学・官公庁職員, 財団の賛
助会員]); 8,000 円 (非会員); 3,000 円 (学生)
定 員 : 200 名

申込方法 :

氏名, 〒所在地, 勤務先, 所属, 電話および
FAX 番号を明記の上, 郵便, FAX または電子
メールで下記宛にお申込下さい. 受付の通知を
返送いたしますので, そこに記載した振込先口
座に参加費をお振込み下さい. 入金を確認後,
領収書兼参加証を送付いたします.

申 込 先 : (財) 千里ライフサイエンス振興財団
セミナー (P3) 係
〒560 0082 大阪府豊中市新千里東町 1 4 2
千里ライフサイエンスセンタービル 8 階
TEL 06 6873 2001 FAX 06 6873 2002
E-mail info-1sf@senri-1c.co.jp



第 1 回環境生理シンポジウム 人類生存への環境創造へ向けて

<開催趣旨>

環境ホルモン (内分泌攪乱物質) や地球温暖化

が人類の生存をも左右する問題として議論される
など, 近年「環境」は人々の強い関心を集めてい

る。人類をふくめた生物は地球環境の中に生きるものであり、その意味で「生理学」はつねに環境からの影響を視野の中に含んでいる。しかし従来の生理学はどちらかといえば生体を環境から独立させて還元論的視点から解析する手法を多くとって来た。そこでは呼吸・循環・体液・体温...といった個々の調節系が別個に解析された。もちろんこのようなアプローチは生体现象の理解を大きく進めたが、人類に突きつけられた諸問題を考える上で、生体を統合的に捉える視点が必要となってくることは間違いない。また分子生物学、コンピュータサイエンスを始めとする新たな研究手法の発達も従来の学問的枠組みを越えた研究を可能にしつつある。しかし残念なことに現在の生理学研究者間のつながりは従来の枠組みを中心としたものに留まり、横断的な情報交換の場が少ないのが現状である。そこで「環境」に関わる種々の領域の研究者間に新しいネットワークをつくり、さらには分子生物学から脳科学までを包括する新しいタイプの基礎科学を模索する第一歩として「環境生理シンポジウム」が企画された。

先ず2001年～2003年の3回のシリーズとして日本生理学会の前後に開催を予定している。第一回は2001年3月28日に京都府立医大での開催が決定している。

<第1回シンポジウム予定>

日 時：2001年3月28日（生理学会前日）
場 所：京都府立医大，図書館講堂
世 話 人：本間研一（北海道大），佐久間康夫（日本医大），照井直人（筑波大），能勢 博（信州大），彼末一之（大阪大）
後 援：日本生理学会，日本生気象学会，日本自律神経学会，日本宇宙航空環境医学会，日本内分泌学会
会 費：1,000円（学生，大学院生無料）
連 絡 先：
第1回環境生理シンポジウム当番世話人
彼末一之（かのすえ かずゆき）
Kazuyuki Kanosue, Ph. D.
大阪大学医学部保健学科

基礎生体情報学講座

〒565 0871 吹田市山田丘1 7
TEL & FAX : 06 6879 2582
E-mail : kanosue@sahs.med.osaka-u.ac.jp

予定プログラム（敬称略，変更あり）

これからの環境生理学 本間研一（北海道大）
<体温調節・神経免疫と環境生理>

座長：清原寿一（京都工芸繊維大）

松村 潔（京都大）

免疫情報伝達装置としての脳血管内皮細胞

紫藤 治（島根医大）

低体温の誘導 未知の内因性低体温誘導物質
能勢 博（信州大）

何故，今，ヒトか：その体温調節の特殊性

<循環・自律神経と環境生理>

座長：前田正信（和歌山県立医大）

西保 岳（筑波大）

運動時における活動筋による反射性循環調節

照井直人（筑波大）

延髄交感神経プレモータニューロンの機能分
化

岩瀬 敏（名古屋大）

宇宙における微小重力環境と自律神経機能の
適応

<体液・電解質と環境生理>

座長：西田育弘（防衛医大）

河南 洋（宮崎医大）

水・ナトリウム代謝の中枢性調節：高張食塩
水の脳内局所投与に対する応答メカニズム

森田啓之（岐阜大）

食環境変化が門脈 肝臓領域 Na⁺，K⁺ 受容
器発現に及ぼす影響

<ホルモンと環境生理>

座長：椋 秀人（高知医大）

河田光博（京都府医大）

脳におけるステロイド作用を「みる」：受容
体をリアルタイムでとらえる試みと，環境変
化に対するニューロンの柔構造の可視化

有田 順（山梨医大）

エストロゲンの神経内分泌的作用

粟生修司（九州大）

化学環境と行動変容：内分泌攪乱化学物質が種／個体適応戦略に及ぼす影響

<エネルギー代謝と栄養と環境生理>

座長：三木健寿（奈良女子大）

鳥居邦夫（味の素）

脳による生体恒常性維持の仕組み 必須栄養素欠乏の認知と栄養環境への適応

山本 茂（徳島大）

日本人のエネルギー代謝が異常になっている

<リズムと睡眠>

座長：香山雪彦（福島県立医大）

桜井 武（筑波大）

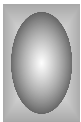
エネルギー代謝調節と睡眠・覚醒の調節におけるオレキシン神経の役割

本間さと（北海道大）

時計細胞のリズム発振と環境への同調：遺伝子が時を刻み，細胞が時刻を伝える

まとめ

佐久間康夫（日本医大）



日本生理学会会費振込みのお願い

平成13年度会費10,000円をお振込み頂きたくお願い致します。本号に振込用紙を添付してあります。12年度会費8,000円未納の方々にはお知らせしてありますのでまとめて納入して下さい。各教室等研究機関でまとめてお振込みいただくと幸いです。所属の変更，入会希望の方がおられましたら，ご連絡下さい。本会の年度は1月～12月となっております。退会等の場合は前年度中に文書でご連絡下さい。図書館，研究所等団体の12年度購読料は9,500円です。なおJJPの購読料の払込先は日本学会事務センター（振替口座00130-9-55247）です。生理学会会費とは別扱いになります。ご注意下さい。

銀行口座自動引落しシステムご利用の方へ

平成13年度会費10,000円の引落日は，平成13年2月20日（火）です。銀行口座へのご入金の前日までお願い致します。

尚，前年度未納分がある場合は合算して引落させて頂きます。

日 本 生 理 学 会

〒113 0033

東京都文京区本郷3 30 10 布施ビル

電話 (03) 3815 1624

振替口座 00130-0-86430